



## 2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月11日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com/japanese/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 華代

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画・経理部長 (氏名) 霜田 正樹

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	11,055	30.6	306	270.3	280	290.8	256	166.1
2023年2月期第3四半期	8,468	32.5	82		71		96	

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 389百万円 (133.8%) 2023年2月期第3四半期 166百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	122.58	
2023年2月期第3四半期	46.07	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	16,874	3,401	20.2	1,622.92
2023年2月期	16,049	3,011	18.8	1,436.90

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 3,401百万円 2023年2月期 3,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2024年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,834	26.1	482	197.9	423	185.1	348	41.7	166.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	2,099,376 株	2023年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2024年2月期3Q	3,596 株	2023年2月期	3,569 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	2,095,801 株	2023年2月期3Q	2,095,850 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識基準)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年11月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が鎮静化、感染症法上の分類引き下げやマスク着用の緩和といった対策も打ち出され、正常化が大きく進んでおります。海外各国でも、既にウィズ/アフター・コロナの生活様式が定着し、新型コロナウイルス感染症の生活・経済への影響は大きく軽減しておりますが、中国経済が停滞するなど地域間での跛行性が見られます。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化、中東情勢の緊迫化もあって地政学的リスクは高まり、資源・エネルギー価格の上昇や物流の遅延等が日本を含めた世界的なインフレや金利上昇に波及、為替相場の変動を引き起こし、経済活動に影響を及ぼすと共に先行き不透明感を高めております。

化粧品業界におきましては、メイクアップ製品を中心に新型コロナウイルス感染症の影響が軽減、市況は改善の傾向が続いております。国内では、マスク着用が習慣として一部常態化しており、個人消費はメイクアップ製品を中心に新型コロナウイルスの感染拡大前を依然下回っておりますが、足元では化粧品需要は増加、マスク着用も徐々に減り、消費マインドも大きく改善してきているものと思われまます。海外においても、新型コロナウイルス感染症の影響は既に軽減、化粧品需要は回復の傾向にあるものと思われまます。

当社グループにおきましては、国内・海外化粧品メーカーからの受注は回復しつつあり、つくば工場第3期拡張等の設備投資によって実現した生産設備の稼働が着実に向上しつつあります。しかしながら、特に国内での採用難による工数不足をまかなうための外注加工費の上昇や、原材料費や各種経費等もインフレで上昇していることもあって、各種コスト圧縮努力を継続して収益性の維持・回復に取組み、当第3四半期連結累計期間も営業黒字を計上しております。

今後も、社会がウィズ/アフター・コロナに移行、正常化していく中で、化粧品需要は回復していくと思われまますが、諸物価やエネルギー価格の上昇、経済の回復・正常化に伴う採用難や人件費の上昇は継続しており、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢のような地政学的リスクも高いことから、引き続き経済全般の先行き不透明感が残ります。そのような経営環境下、黒字の継続と新型コロナウイルスの感染拡大以前の業績水準への早期回復、それを超えた更なる成長に向けて「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」の諸施策を着実に実行してまいります。当面は、新型コロナウイルス感染症の影響軽減に伴う需要増への対応にお客様の要請に応え、中長期的には化粧品へのクリーン・ビューティー、SDGs等の要請に対応するなど、変化し続ける環境で強みを活かして業績の回復・改善を図るべく更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における財政状態及び経営成績は次のとおりとなりました。

国内・海外の化粧品需要の改善傾向を受けて、国内・海外共に化粧品や医薬品の受注は回復・増加しつつあり、売上高は前年同期比30.6%増の11,055百万円となりました。

利益面では、引き続き近年のつくば工場第3期拡張等の設備投資により諸費用が増加している中で、原材料や光熱費、各種経費等の価格上昇や、特に国内での採用難による工数不足のため外注加工費が嵩む影響を受けておりますが、売上高の大幅増収と各種コスト圧縮努力により、営業利益は前年同期比270.3%増の306百万円、経常利益は前年同期比290.8%増の280百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比166.1%増の256百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

新型コロナウイルス感染症の影響が大きく軽減している中で、国内外の化粧品需要は回復の傾向にあり、国内・海外化粧品メーカー各社からの受注が増加してきていることから、売上高は前年同期比17.5%増の7,467百万円となりました。利益面では、受注増に伴ってつくば工場第3期工事等で拡張した工場の稼働が向上、設備投資等によって増加した諸費用を打ち返しつつあり、採用難による工数不足のため外注加工費が嵩み、原材料費や各種経費等もインフレで上昇していますが、営業利益は前年同期比92.7%増の126百万円となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S. A. S. と子会社Nippon Shikizai France S. A. S. の所在する欧州は、当第3四半期連結累計期間（1～9月）において、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく軽減したことから医薬品および化粧品の受注が増加、売上高は前年同期比71.6%増の3,689百万円となりました。利益面では、大幅な増収、特に医薬品の受注増が近年投資した設備の稼働向上を通じて利益に貢献、設備投資に伴う諸費用増等やウクライナ侵攻によるエネルギー価格や諸物価の高騰の影響を打ち返し、営業利益は前年同期比493.7%増の178百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、825百万円増加し、16,874百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が681百万円、固定資産が143百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、棚卸資産が581百万円、流動資産のその他が169百万円増加し、電子記録債権が108百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建設仮勘定が248百万円、投資その他の資産のその他が61百万円増加し、建物及び構築物が145百万円、投資有価証券が62百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、435百万円増加し、13,472百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が1,029百万円増加し、固定負債が594百万円減少したことによるものであります。流動負債の増加要因は、電子記録債務が288百万円、支払手形及び買掛金が171百万円、賞与引当金が140百万円、流動負債のその他が498百万円増加し、短期借入金が69百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が552百万円、固定負債のその他が49百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、389百万円増加し、3,401百万円となりました。増加要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益により256百万円、その他の包括利益累計額合計が132百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年10月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,331,565	1,345,543
受取手形及び売掛金	1,956,162	1,981,340
電子記録債権	225,132	116,812
棚卸資産	2,423,406	3,004,810
その他	226,057	395,193
貸倒引当金	△2,161	△2,142
流動資産合計	6,160,163	6,841,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,820,950	4,675,629
機械装置及び運搬具（純額）	1,523,766	1,545,562
土地	2,140,853	2,142,418
建設仮勘定	207,339	456,235
その他（純額）	333,142	371,846
有形固定資産合計	9,026,052	9,191,692
無形固定資産	360,237	339,169
投資その他の資産		
投資有価証券	357,375	295,232
その他	156,601	218,497
貸倒引当金	△11,410	△11,880
投資その他の資産合計	502,566	501,848
固定資産合計	9,888,856	10,032,711
資産合計	16,049,019	16,874,269
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,310	962,798
電子記録債務	1,036,519	1,324,536
短期借入金	2,494,927	2,425,854
賞与引当金	85,561	226,067
その他	934,530	1,433,245
流動負債合計	5,342,849	6,372,501
固定負債		
長期借入金	7,041,034	6,488,417
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	87,465	95,521
その他	419,783	370,117
固定負債合計	7,694,713	7,100,486
負債合計	13,037,562	13,472,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,510,339	1,510,339
利益剰余金	1,146,283	1,403,187
自己株式	△3,918	△3,983
株主資本合計	2,752,703	3,009,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,238	119,439
為替換算調整勘定	98,515	272,297
その他の包括利益累計額合計	258,753	391,737
純資産合計	3,011,457	3,401,280
負債純資産合計	16,049,019	16,874,269

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年3月1日 至 2022年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）
売上高	8,468,055	11,055,988
売上原価	7,514,121	9,634,229
売上総利益	953,934	1,421,758
販売費及び一般管理費	871,285	1,115,675
営業利益	82,648	306,082
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	5,803	6,601
為替差益	47,736	40,556
雑収入	28,324	23,747
営業外収益合計	81,869	70,915
営業外費用		
支払利息	78,281	96,208
その他	14,377	—
営業外費用合計	92,659	96,208
経常利益	71,859	280,790
特別利益		
投資有価証券売却益	40,037	—
特別利益合計	40,037	—
特別損失		
固定資産除却損	304	1,829
特別損失合計	304	1,829
税金等調整前四半期純利益	111,592	278,961
法人税、住民税及び事業税	15,043	75,635
法人税等調整額	—	△53,578
法人税等合計	15,043	22,056
四半期純利益	96,548	256,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	96,548	256,904

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	96,548	256,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,726	△40,798
為替換算調整勘定	116,970	173,782
その他の包括利益合計	70,243	132,984
四半期包括利益	166,792	389,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,792	389,888
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年3月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	5,476,131	16,901	5,493,033	△1,558	5,491,474
日本以外向け	880,061	2,133,665	3,013,727	△37,146	2,976,580
顧客との契約から生じる収益	6,356,193	2,150,566	8,506,760	△38,705	8,468,055
外部顧客への売上高	6,319,047	2,149,008	8,468,055	—	8,468,055
セグメント間の内部売上高又は 振替高	37,146	1,558	38,705	△38,705	—
計	6,356,193	2,150,566	8,506,760	△38,705	8,468,055
セグメント利益	65,448	30,071	95,520	△12,871	82,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,871千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「仏国」セグメントにおいて、Nippon Shikizai France S.A.S.を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては74,622千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	6,758,502	18,007	6,776,509	△642	6,775,866
日本以外向け	709,482	3,671,814	4,381,296	△101,175	4,280,121
顧客との契約から生じる収益	7,467,985	3,689,821	11,157,806	△101,818	11,055,988
外部顧客への売上高	7,366,809	3,689,178	11,055,988	—	11,055,988
セグメント間の内部売上高又は 振替高	101,175	642	101,818	△101,818	—
計	7,467,985	3,689,821	11,157,806	△101,818	11,055,988
セグメント利益	126,101	178,533	304,635	1,446	306,082

(注) 1. セグメント利益の調整額1,446千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。